

持続可能な原子力災害復興のための 移住者・帰還者の 共生的コミュニティ創生 を目指したネットワーク構築

原発事故の被災地の復興には、避難された方々の帰還や、新たに移住された方々の安定した暮らしが重要な課題です。私たちは、帰還者と移住者が共に被災地の復興を歩み、コミュニティ創生を目指していくことを支えるため、フレームワーク開発や支援ネットワークの構築を目指しています。

この取り組みは令和4年度より始まり、これまで、アンケートやインタビューで移住された方々にお話を伺ってまいりました。これまでの取り組みの結果を踏まえ、今後は、市町村や移住理由による違いに焦点をあてた長期的な調査や、帰還者との共生コミュニティ形成の調査が必要と考えています。そして、こうした調査の結果を、地域にフィードバックしていく、移住者支援・被災地支援、そのネットワーク構築に活かしていくため、現在下記のような取り組みを進めています。



コミュニティ
への参加観察

支援組織・団
体・専門家の
ネットワーク
づくり

個別
インタビュー

支援フレー
ムワークの
拡充

アンケート
調査

ご興味・ご関心のある方は、ぜひお気軽にご連絡ください。

これまでの研究事業の報告や提案内容については、右のQRコードから「被災地コミュニティの形成に向けた心のケアフレームワーク2024年度版」をご覧ください。
その他のお問い合わせについては、下記ご連絡先までお願ひいたします。

福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座

メール : d-kokoro@fmu.ac.jp

電話 : 024-547-1887



本取り組みは、環境省の令和7年度放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業（主任研究者：一般社団法人福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター 前田正治））のもとで実施されております。